

みずほCustomer Desk Report 2017/04/05 号 (As of 2017/04/04)

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】					公示仲値	110.59
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.69	1.0670	118.14	1.0016	1.2490	0.7605
SYD-NY High	110.93	1.0676	118.26	1.0038	1.2493	0.7615
SYD-NY Low	110.27	1.0636	117.44	1.0012	1.2419	0.7545
NY 5:00 PM	110.75	1.0673	118.20	1.0020	1.2439	0.7564
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			8.995/9.39	△ 25RR	1.058	Yen Call Over
NY DOW	20,689.24	39.03	債券市場	日本2年債	-0.1760	▲ 1.6bp
NASDAQ	5,898.61	3.93		日本10年債	0.0660	▲ 0.9bp
S&P	2,360.16	1.32		米国2年債	1.2520	2.6bp
日経平均	18,810.25	▲ 172.98		米国5年債	1.8898	3.8bp
TOPIX	1,504.54	▲ 12.49		米国10年債	2.3605	4.1bp
シカゴ日経先物	18,965	▲ 80.00		独10年債	0.2570	▲ 2.0bp
ロンドンFT	7,321.82	39.13		英10年債	1.0670	0.3bp
DAX	12,282.34	25.14		豪10年債	2.6050	▲ 6.9bp
ハンセン指数	#N/A	#N/A	為替市況	USD/CNH	6.8788	0.0041
上海総合	#N/A	#N/A		ドルインデックス	100.54	0.00
USDJPY 3M Vol	9.50	0.12%	商品市況	CRB指数	185.594	1.07
USDJPY 6M Vol	9.44	0.10%		NY金	1,258.40	4.40
EURJPY 3M Vol	11.29	0.31%		WTI	51.03	0.79
EURJPY 6M Vol	10.56	0.25%		Dubai Spot	51.07	▲ 0.65

東京	東京時間のドル円は110.69レベルでオープン。前日からのドル売り優勢地合いを引き継ぐ中、本邦実需勢によるドル売り円買いも散見され、ドル円は仲値にかけて110円台半ばまで軟化。注目された豪政策金利は1.50%に据え置かれるも、足元の雇用市場に弱さが見られると声明文の中で示されると、豪ドル相場は急落。対円も年初来安値まで下落する展開にドル円も連れる格好となり一時110.37まで下落。その後も110円台で揉み合う展開が続き、結局110.49レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は110円台前半から半ばでのレンジ推移。朝方のドル円は110.49レベルでオープンし、110円台半ばで推移。ロンドン時間中盤にかけては、米長期金利の低下や軟調な欧州株などを背景にクロス円が緩む中でドル円はこの日の安値となる110.27レベルまで下落。110.29レベルでNYへ渡った。ホントドルは1.24台半ばで横這い。朝方は1.2440レベルでオープンし、安値1.2419まで下落。その後は1.24台半ばまで値を戻すも、特段目立った材料も無く、仏大統領候補討論会を控えた様子見の姿勢が強まる中で横這いとなり、1.2434レベルでNYへ渡った。(ロンドン7時) 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	海外市場は前日のロシア爆発事件、ハド派寄りな豪中銀理事会等を背景にクロス円が軟調推移したことから、ドル円も連れ安となり110円台後半から下落し、110.29レベルでNYオープン。朝方は110.28まで下落。しかし、米10年債利回りが2.30%目前で下げ渋ったことや、米2月貿易収支で貿易赤字額が予想比縮小したことなどを背景にドル円は110円台前半から110円台後半まで反発。その後は110円台半ばまで反落する場面もみられたが、原油在庫統計を翌日に控え、在庫減少観測の強まりを背景に原油価格が4週間ぶりの高値まで上昇、安く寄り付いた米株がプラス圏に浮上したことも相俟ってドル円は高値となる110.81まで上昇。110.75レベルでクロスした。なお、フッカー・リッフェンド連銀総裁(2017年投票権なし)が2012年9月のFOMCに関する情報漏洩を認めたことから辞任となったが、同氏は既に今年10月の退任を発表していたこともあり市場への影響は限定的となった。またトランプ大統領の「ドイツフラン規制を大幅に緩和する」との発言があったものの、金融株の反応も特段見られず市場の反応は限定的。一方ユーロドルは1.0648レベルでNYオープン、特段材料のない中、1.0647から1.0676での狭いレンジ推移となり、1.0673レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 下山・鶴田

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月4日	13:30	豪 RBAキャッシュレート	-	1.50%
	18:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	2月 0.7%/1.8%	0.5%/1.0%
	21:30	米 貿易収支	2月 -43.6B	-44.6B
	23:00	米 耐久財受注・確報値(前月比)	2月 1.8%	1.7%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報値(前月比)	2月 0.5%	-
	23:00	米 製造業受注指数	2月 1.0%	1.0%
4月5日	05:30	米 タルーロ・FRB理事講演	-	-

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月5日	16:55	独 マークイットサービス業PMI/総合(確報値)	3月 55.6/57.0	55.6/57.0
	17:00	欧 マークイットサービス業PMI/総合(確報値)	3月 56.5/56.7	56.5/56.7
	21:15	米 ADP雇用統計	3月 185K	298K
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指	-	-0.8%
	22:45	米 マークイットサービス業PMI/総合(確報値)	3月 53.1/-	52.9/53.2
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	3月 57.0	57.6
	23:30	米 原油在庫統計	-	-
4月6日	03:00	米 FOMC議事要旨(3月14日~15日)	-	-

【ドル円相場】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-111.50	1.0620-1.0720	117.70-119.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は、海外時間に反発。米10年債利回りが節目と意識される2.3%を下抜けずに反発したことや、原油価格が上昇し、リスクセンチメントが改善したこと等が背景といえよう。本日は引き続き米ファンダメンタルズが重要だろう。3月ISM非製造業景況指数が発表される。引き続き強い結果となればドル買い優勢の展開になるだろう。また、米原油在庫も発表されるため、内容を精査したい。